チーム全体でチーム力を高める方法。

チームメンバーの一人一人が能力を最大限に発揮しながら、他のメンバーと互いに補充し合える協力環境、協働体制を作り、そして、個々のeスポーツに対する意欲向上や満足感により、継続してスキルアップして、eスポーツ学科全体を活性化するためには、eスポーツ学科の全生徒の意識もしくは参加する必要性が出てくる。

１．効率性の強化

個々の得意分野がより効率的であり、時間のかかる部分を他のメンバーで互いに補完し合う環境の整備が必要。そのために、コミュニケーションを通じた相互理解や働きかけによる話し合いまたは発言しやすい環境づくりはこれからのeスポーツ学科に今よりもっと必要と感じる。

２．目標の明確化

ēスポーツ学科としての目標の設定と明確化

その上で、個々の個別具体的な役割を明確化する必要が出てくる。これにより自分の役割が目標に関わってくるのかを容易に把握することができる。あと長期的な目標に目が行きがちだがまずは短期目標を着実にこなしてくのが大事と思います。

３．意思決定プロセスの強化

ēスポーツ学科運営のために、上級生がどこまでの意思決定に関わるのか、またそれ決定事項を下級生に共有しなくてはならない。この部分を明確にしなければならない。理想としては、梶谷先生などの先生方の存在なくてもメンバー同士だけでその都度意見交換を行い、eスポーツ学科の目標に向かうこと。

４．順応性

ēスポーツ学科に関する環境は常に変化が生じることを想定して、臨機応変に対応できる学科づくりをする必要がある。変化に対応することで、学科としての結束力や個々の成長、

常に挑戦者としての気持ちを持ち続けることができる。

以上4点がこれからeスポーツ学科に必要な

力だと個人的に感じます。

勿論、これはeスポーツ学科の全生徒が個々の主体性を高める必要が出てきますが、しかし、そんな簡単に上手くいかない可能性が高いです。そこで、eスポーツ学科に関わる先生方に僕から一つお願いがあります。それは僕たち生徒が詰まったときにそのサポートをお願いしたいと思います。ｅスポーツ学科の最上級生として卒業まで残り1年、自分が後輩たちに何ができるのかを考えたときに勿論自分が引っ張っていかないといけないと感じていましたが、今の自分自身の現状を客観的に見て、それが少し難しいと感じている部分が多いので、そのためにも、後輩たちが授業は勿論のことeスポーツに打ち込める環境を作るためのサポートをしたいと考えています。

来年度も、体調面の不安定な時期が来るかもしれませんがこんな自分をどうぞよろしくお願い致します。宮本希